

富岡町のくらしと文化

Life and Culture in Tomioka Town

富岡町は気候の変動が少なく、江戸時代から大正時代にかけて農地開発も進んだ農業が盛んな地域でした。雪は少なく、夏は過ごしやすのが特徴です。

一方で、同じ町内でも、海岸線や台地、里山など地区によって暮らしの環境が様々です。

小良ヶ浜や仏浜、毛萱地区は海との共生、中央～本町地区は商売が盛んな人と物資が行き交う拠点、上・下郡山や本町、上手岡地区の東側は豊かな田んぼが広がる農村地帯、夜の森地区は観光とニュータウンの新しい街、上手岡地区の西側や赤木地区は林業・鉱業の資源が豊富で、地域ごとの顔があります。

高度経済成長期までは、地区によって仕事の環境も異なり、道具や食べ物、商売の中身も多岐にわたりました。その名残は震災前までありました。

Tomioka Town has not had much change in climate, and agriculture has flourished due to the development of farmland between the Edo and Taisho eras. Tomioka is known for having very little snow and pleasant summers. There are many different environments within the town due to the coastline, plateaus and woodlands. Until the period of economic growth, the type of jobs available also varied by area, and included everything from producing tools, cooking food and commerce.



町民の声
小学校とか幼稚園とかからずっと続いている友達もいて、近づくに幼稚園もいて、つながりがたくさんあった。(10代 男性)

町民の声
お祭りですとか、地域のサークル活動とかもしてたので、そういうのが楽しかった。(40代 女性)

